

寒冷気候の影響

寒冷気候と水や氷の凍結・融解は、とかち鹿追ジオパークの地形の形成に欠かせない存在です。寒冷気候は、ジオパーク内の標高の比較的低い場所にある永久凍土を保全します。この永久凍土は、北半球の中でも最も南に位置するもののひとつです。永久凍土、崖錐を含む地形形成、風穴などの周氷河現象は、寒冷気候の影響や、気候が地形や多様性に与える影響をよく表しています。

「凍れ」とはどのくらい寒いのか？

鹿追の冬は長いです。街の中心部の最低気温は、一年のうち 157 日間*、0 度を上回ることはなく、最高気温は約 73 日間*にわたって氷点下が続きます。1 月になると、街の平均気温は -6.7℃* で、然別湖周辺では -12.2℃* になります。もっとも寒い時期、然別湖周辺の気温は -30℃にまで下がることもあります。然別湖は 12 月の間に凍り、4 月中旬まで完全に凍ったままの状態が続きます。真冬には、然別湖を覆う氷の厚さは 1 メートルにも及びます。

*1991 年から 2020 年の現地記録に基づく